

JILPT 調査シリーズ

No.144

2016年5月

帰国技能実習生フォローアップ調査 —2014年度アンケート、インタビュー調査結果—

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



帰国技能実習生フォローアップ調査

－2014年度アンケート、インタビュー調査結果－

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

技能実習制度は、技術移転を通じた「人づくり」のための制度として我が国の国際貢献において重要な役割を果たすことが期待されている制度である。しかし、現実には制度趣旨が理解されず安価な労働力確保のための方策として使われているという側面は否定できない。今後、技能実習制度が本来の制度趣旨を実現するためには、技能実習の現状を把握することが重要であると考えられる。

そこで、当機構では、厚生労働省能力開発局海外協力課外国人研修推進室の要請に基づき、本来の制度趣旨を踏まえた技術移転の状況がどのようになっているかを中心に技能実習の実態把握を目的として、帰国技能実習生を対象として帰国後の技能実習制度のフォローアップ調査を実施した。

この調査シリーズは、上記の調査目的に則り、日本で2年以上の技能実習を経験して2014年12月までに帰国した中国、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイのアジア5カ国の技能実習修了生を対象に行ったアンケート調査と海外現地インタビュー調査の結果を取りまとめたものである。

本書を作成するにあたって、アンケート調査ならびにインタビュー調査にご協力いただいた技能実習修了生の皆様と配布や回収等にご協力いただきました技能実習制度の監理団体や企業等の皆様にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

2016年5月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

調査実施、執筆担当者

氏名	所属	執筆担当
<small>わたなべ</small> 渡邊 <small>ひろあき</small> 博頭	労働政策研究・研修機構	統括研究員
<small>のむら</small> 野村	労働政策研究・研修機構	主任調査員

第Ⅱ部第9章事例（フィリピン、タイ、インドネシア）、付属資料

第Ⅰ部、第Ⅱ部第7章、第8章、第9章事例（中国、ベトナム）、付属資料

※本調査シリーズの全体の編集は、野村が担当した。

目 次

まえがき

目次

第 I 部 帰国技能実習生フォローアップ調査（アンケート調査結果）

第1章	調査の概要	3
第2章	調査対象者のプロフィール	6
	1. 技能実習タイプ別回答状況	6
	2. 男女別回答状況	7
	3. 年齢別回答状況	9
	4. 職種別回答状況	10
第3章	来日までの手続き	13
	1. 来日前の技能実習生の状況	13
	（1）来日前の仕事	13
	（2）来日の目的	15
	2. 来日手続きについて	18
	（1）保証金契約の有無	18
	（2）保証金等の徴収の有無	19
	（3）保証金等を預けた者の返還状況	21
	（4）違約金契約を結んだかどうか	22
第4章	日本での技能実習の状況	24
	1. 技能実習の具体的状況	24
	（1）実習期間中の賃金支払い状況	24
	（2）実習期間中禁止されていたこと	26
	（3）実習期間中の相談相手	27
	（4）実習期間中の困ったことの有無	29
	（5）困ったことの具体的内容	30
第5章	帰国後の状況	33
	1. 日本での技能実習の効果	33
	（1）日本での技能実習は役立っているか	33
	（2）具体的にどのようなことが役に立ったのか	34
	2. 帰国後の就業状況	36

3. 帰国後の仕事の内容	38
4. 帰国後の勤務先属性	40
5. 帰国後の賃金水準	42
6. 帰国後の予定や希望	44
7. 「予定や希望がある」と回答した者の具体的希望	45
第6章 自由記述欄	47

第Ⅱ部 帰国技能実習生フォローアップ調査（インタビュー事例調査結果：中国、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ）

第7章 調査の概要	51
第8章 インタビュー調査結果の概要	53
第9章 インタビュー調査結果	61

付属資料

資料1 「帰国技能実習生フォローアップ調査」（アンケート調査票）	159
資料2 「帰国技能実習生フォローアップ調査」（アンケート調査） 属性×国別、各設問×属性のクロス集計結果	165
資料3 「帰国技能実習生フォローアップ調査」（インタビュー調査項目）	187
資料4 「帰国技能実習生フォローアップ調査」（インタビュー調査結果一覧）	193